

# 14年連続37回目のV

## 男子バレーボール部

習志野高校の男子バレーボール部が1月5日から10日まで東京体育館で開催される、春の高校バレー「第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会」に出場する。

千葉県代表決定戦では高さに力強さを加えたバレーを展開。準々決勝戦で東海大学付属市原望洋高校、準決勝戦で八千代松陰高校を破り決勝戦に臨んだ。決勝戦は4年連続して同一カードの市立船橋高校との対戦となったが、ストリート勝ちで優勝を飾った。全日本選手権大会出場は14年連続37回目。

大林晴キャプテンは「春高までの期間、大会でプレーできることに感謝の気持ちを持ちながら、全国優勝を目指し、私たちの武器であるサーブ、ブロックをさらに強化し、センター戦中心のコンビバレーに磨きをかけたと思います」と抱負を語った。

習志野高校の初戦は5日午後12時10分から。対戦相手は6年ぶり13回目の出場となる岡山県代表の玉野光南高校。大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客で行われる。

### 活躍する習志野高校生 全国大会へ

## 2年連続で県制覇!

### ソフトボール部

習志野高校ソフトボール部が3月19日から栃木県大田原市で開催される「第39回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会」に出場する。

県内30チームによる千葉県代表を決定する「千葉県高等学校新人ソフトボール大会」は昨年11月6日から8日まで開かれた。習志野高校は初戦の四街道高校、続いての木更津総合高校戦にも勝利。準決勝戦では東海大学付属市原望洋高校を6-1で破り、決勝戦に進出した。決勝戦は昨年と同様に千葉経済大学附属高校との顔合わせとなり、2-0で2年連続の優勝を果たした。

習志野高校の県新人戦優勝は通算23回目。

斉藤遥夏キャプテンは「県予選では、自分たちらしい戦い方で、優勝することができました。全国大会では、新人戦の前からチームとして掲げている『ワンフォール・オール・オールワン』という言葉をもとにして、一人ひとりが自分は何ができるのかを考え、チームのためにそれを意識して、全国大会でも自分たちらしいプレーをして優勝を目指したい」と話した。個人力の高い選手が多く、つなぐバティングなどでチーム力を発揮して頂点を目指す。



千葉県代表決定戦で優勝を果たした習志野高校男子バレーボール部 (写真提供:習志野高校男子バレーボール部)



第39回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会出場を決めた習志野高校ソフトボール部

## 中学剣道新人戦

### 男子四中 女子五中が優勝飾る



男子団体戦優勝の四中



女子団体戦優勝の五中

令和2年度習志野市中学校新人体育大会・剣道の部が令和2年11月22日、東部体育館で開催された。

団体戦は総当たりのリーグ戦で行われ、男子は四中、女子は五中が優勝を果たした。

トーナメントによる個人戦では、男子は四中の高橋桜矢選手が決勝戦に勝利、女子は五中の高橋明日香選手が連覇を遂げた。

男子四中の吉村奏真主将は「自分たちはいままでモチベーションを高くすることを意識して練習に取り組んできました。それが今回、仲間とともに『優勝』という形にすることができ、とてもうれしかったです。これからも県大会に向けて、短い練習期間の中で、さらに仲間と協力してがんばっていききたい」と語った。

女子五中の高橋明日香主将は「新人戦に向けて日々の稽古に励んできました。また、先生方のご指導の下、基本からもう一度見直して、挨拶や礼儀などを徹底した上で、部員全員が試合への意識を高めるよう努力してきました。このような結果を出すことができたのは、多くの方々を支えてきたお蔭です。感謝の気持ちを忘れずに県大会でも精一杯がんばりたい」と話した。

大会結果は次の通り。

#### 【男子団体戦】

- ①四中②東邦中③一中④五中⑤三中

#### 【女子団体戦】

- ①五中②東邦中③二中④四中⑤一中

#### 【男子個人戦】

- ①高橋桜矢(四中)②渡邊蒼(東邦中)③増田聡良(三中)④岩崎心洋(四中)

#### 【女子個人戦】

- ①高橋明日香(五中)②國本菜奈帆(東邦中)③稲垣彩(四中)④高田優奈(五中)

#### 【初心者男子】

- ①清川泰輝(東邦中)②柴匡希(三中)③黄星博(一中)④吉崎海斗(四中)

#### 【初心者女子】

- ①沖津陽織(二中)②水谷天音(東邦中)③藤本月菜(三中)④本間理花(東邦中)

## 優勝は東習B 市総体ペタンク競技

第54回習志野市市民総合体育大会・ペタンク競技が令和2年10月31日、東習志野小学校で開催された。交流ペタンク大会には20



優勝の東習B



準優勝の袖ヶ浦東D

チームが参加した。予選リーグほかで競われ、東習Bが優勝を飾った。

大会結果は次の通り。

- ①東習B(濱川武夫・三輪弥太郎・吉野利子)②袖ヶ浦東D(松田洋祐・今村貞堯・鈴木和子)③東和会(太田美代子・風野トミ子・若林モト子)④習志野チーム(川崎忠男・稲田雄児・赤沢嘉彦)

【訂正】12月5日付4面「大相撲11月場所」の阿武松部屋屋力士11月場所成績表で幕内・阿武咲関のしこ名が「阿武」と誤っており、訂正しました。お詫びして訂正します。